

私の作品は好きになつてくれませんか？
 たまたま、好手（受）のものです。
 感じたまま、好きに読んでください。
 いそぐすばい。言葉も喜ぶと思

詩人・童話作家
工藤直子さん

むすぶ

子どもから大人まで 読書に親しんだ「県民読書の日」

秋田県では、一人一人の県民が読書の意義を理解し、読書に親しむ機会となるよう、11月1日を「県民読書の日」と定め、その趣旨に沿った取組を実施しています。秋田市の生涯学習センター、県立図書館、児童会館を会場に行った読書イベントを紹介します。



高校生ビブリオバトル全県大会

(生涯学習センター)



県内5会場で開催した地区大会を勝ち抜いた10名の高校生が、お気に入りの本の魅力について発表しました。参加者全員の投票により、初代全県チャンプ本には、大館国際情報学院高等学校3年富樫紅実さんが紹介した『物語のおわり』

(著・湊かなえ)、準チャンプ本には由利工業高等学校3年遠藤凌さんが紹介した『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』

(著・七月隆文)が決定しました。

《参観した皆さんからの感想》

- ・新たな本との出会いの場をつくっていただけてありがとうございます。私も来年出たいと思いました。(高校生)
- ・初めて参加しました。ビブリオバトルは本が好きなおと、本を読み取る力、感じる力を基本としながらも、表現する力が大きく求められると感じました。その力を十分に備えている高校生に感激でした。(40代)
- ・高校生の皆さん、さすがしく一生懸命で感動しました。さわやかな人たちでした。(50代)

お薦めの本の魅力を自分スタイルで語る高校生パトラーたち



富樫さんは、来年1月10日(日)よみうり大手町ホール(東京都千代田区)で行われる「全国高等学校ビブリオバトル2015」に県代表として参加します!



ハロウィンであそぼう

(生涯学習センター)



仮装した参加者もいました

生涯学習センターで英語を学びたいママたちの英語レッスンをやっている「マミングリッシュ」の皆さんが、ハロウィンのイベントを行いました。就学前の子どもたちを中心とした親子約60人が、英語による歌と体操、おはなし等を楽しみました。

子どもたちは、布絵本のグリーンモンスターにカラーボールをぶつけてやっつけたり、魔女がほうきを探してまわるストーリーの紙芝居を聞いたりするなど、ハロウィンにふさわしいおはなしの世界に浸っていました。



「県民読書の日」制定一周年 記念コンサート (県立図書館)



コンサートの様子

「県民読書の日」の制定一周年を記念し、エントランスホールで、茂木美竹さんの歌と秋川史歩さんのピアノ演奏による「童謡生誕100周年にむけて～明治・大正・昭和・平成の歌を巡る～」というプログラムのコンサートを開催しました。参加者たちは、明治時代から現在までの童謡の変遷を美しい歌声とともに味わい、最後は全員で「ふるさと」を大合唱しました。



「第2回ふるさと秋田文学賞」表彰式

応募総数 93 編の中から選ばれた、最優秀賞の鈴木利良さん(横手市)と優秀賞の森川瑠美子さん(横浜市)に、表彰状が手渡されました。また、選考委員の西木正明氏、塩野米松氏、内館牧子氏による講評や助言があり、次の創作活動へのヒントとすることができました。

最優秀賞	『横手盆地で農を継ぐ』	鈴木 利良さん (横手市)
優秀賞	『みちのく鬼譚』	森川 瑠美子さん (横浜市)
	『いつか、夏が終わる前に』	渡部 麻実さん (横浜市)



表彰される鈴木さん(左)森川さん(右)



選考委員の皆さん

塩野米松氏講演会「聞くことから始まる」

仙北市(旧角館町)出身の塩野氏が、「聞くことから始まる」と題した講演を行いました。参加者は、「『聞き書き』から、今日の生き方や将来の生き方を導き出すことができる。読書でも同じことができるのではないかと感じ、読書をこれからも続けたいと思った」「『聞き書き』によって、子どもたちが親や先生以外の大人の生き方を学ぶことができるのがすばらしいと思う」といった感想を寄せていました。



講演後サインにも応じる塩野氏

そのほかの平成27年度「秋田県読書フェスタ」のイベントから

秋田県読書絵はがきコンクール

11月3日(火)、「秋田県読書絵はがきコンクール」の表彰式を、「みらいあ児童文化フェスティバル」(児童会館主催)にて行いました。



教育長賞の受賞

今年に応募総数 571 点の中から、教育長賞、児童会館館長賞、優秀賞に選ばれた 20 名の入賞者は、自分の作品がステージ上のスクリーンに映し出される中、賞状を受け取りました。



じっくり作品を鑑賞

また、全ての作品を児童会館図書室に展示したところ、好評だったため、期間を延長してたくさんの人たちに見てもらうことができました。

ビッキーとよみきかせ



約50組の親子が参加

11月3日(火)、ノーザンハピネットのマスコットキャラクター「ビッキー」が、児童会館の小舞台にやってきました。おすすめ絵本や自ら登場する紙芝居の読み聞かせを盛り上げました。

ハロウィーン・ウォーク in 仲小路



絵本を読む親子

10月24日(土)、ハロウィーンパレードを待つ間、絵本を読めるコーナーを設置。仮装した親子がお気に入りの絵本を手にとっていました。



学校の
読書活動紹介

平成27年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰
秋田県立秋田北高等学校



<大学生と連携した読書推進行事>

平成20年度から22年度まで、図書委員会が主催し、大学生を講師として学校図書館に招き、読書体験を語る講話会を開催しました。「学びのための読書もある」ということを知り、大学生の紹介する本を展示することで、生徒の読書推進につながりました。

<学校図書館の地域開放>

平成26年4月より、地域住民に学校図書館を開放しています。図書だよりも配付し、生徒だけでなく、

幅広い年齢層の読書活動を支援しています。

<課題研究活動の支援>

2年生の課題研究活動の際、学校司書との連携でレファレンス体制を整えるほか、公共図書館と連携して資料の充実を図っています。

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>